

広報うちこ

あなたとまちをつなぐ、ふるさと情報誌

UCHIKO

2

February 2022
vol.292

◎COVER

踏み出す大人の一步。
ここから、それぞれの未来へ——

◎特集 Special Feature

地域をつなぐみそぎの里



ぼくの夢 わたしの夢

酒井 堃^{のの}乃さん 五十崎小学校6年(平成)

たくさんの人を笑顔にできる 優しくて気が利く介護士になりたい

私の夢は介護士です。父と病院に行ったとき、介護士さんが入院しているお年寄りにご飯を食べさせたり、笑顔で優しく声を掛けたりする姿を見ました。そのお年寄りが笑顔になっていたのので、介護士さんは笑顔や元気を与えているんだと感じて、すごいなと憧れました。私もそれを見習って、普段から周りの人に笑顔で優しく振る舞うように心掛けています。下学年の子に掃除の仕方や、友達に勉強を教えるなど、誰かのためになることをすると、すごくうれしいです。

将来は憧れの介護士さんのように、介護をするだけでなく、その人を笑顔にしたいです。私自身も笑顔を絶やさず優しく接して、たくさん頼ってもらえるように頑張ります。それから介護の知識があれば、もし祖父母などに介護が必要になっても大丈夫です。長生きしてほしいので、側で支えたいです。



CONTENTS 目次

UCHIKO vol.292

広報うちこ 2022年2月号

- 2 ぼくの夢 わたしの夢／目次
- 3 特集 地域をつなぐみそぎの里
- 12 まちのニュース 文化交流都市協定
- 14 うちこ往来 新春リアルすごろく大会／春の七草探し／どんど焼き 他
- 16 令和3・4年内子町成人式
- 20 みんなのひろば
リレーエッセイ／はじめてのバースデー／人☆キラリ／HELLO!!! 他
- 24 図書館へ行こう
- 25 ゆうていあ Vol.250
- 26 町からのお知らせ 内子町人権・同和教育研究大会／人権コラム 他
- 30 暮らしの情報 観光シンポジウム／みどり苑職員募集／こころの健康相談日 他
- 33 社協だより Vol. 5
- 34 健康カレンダー／お元気ですか／人のうごき／相談／当番医
- 36 住人十色

COVER

—— 表紙の写真 ——



◎1月9日に開催された「令和4年内子町成人式」。小田中学校出身の新成人の皆さんと当時の担任・二上雅史先生が、タイムカプセルを開くために集まっていたところを撮影させていただきました。タイムカプセルには当時の写真や思い出の品などが詰まっていて、取り出すたびに会話と笑顔があふれ出ていました。

成人式の写真とメッセージは16ページから掲載しています。ぜひご覧ください。

Special Feature

地域をつなぐみそぎの里



今年1月、御祓地区の地域おこし協力隊の任期を終えた水谷
まどか 円香さん。「特別なことは何もしていない」と言いますが、御祓
地区はこの3年間で、たくさんの人が訪れる地域になりました。
どうしてこんなにたくさんの人に愛される地域になったので
しょうか。地域の人やみそぎの里に入った楽しい仲間の皆さん
に思いを聞くとその理由が見えてきました。

手をつなぐ 仲間が増えた

人口減少が続く御祓地区で地域活性化というミッションを任せられた水谷さん。地域活性化とは何だろうと常に考え続け、「そこに住む人が満足して暮らしていること」という自分なりの答えを導き出しました。今、たくさんの仲間に囲まれ、地域を元気にする新たな一歩を踏み出します。



水谷 まどか 円香さん＝北浦＝

と御祓の皆さんはいつも協力してくれました。一人一人の「やってみよう、もつとよくしよう」という少しの挑戦と前向きな姿勢に支えられて、3年間頑張れました。

みそぎの里の展開 地域のひとと歩んだ軌跡

1年目はコミュニティカフェみそぎの里をリニューアルしました。地元産にこだわった場所にすることで、地域内外からたくさんの方が来てくれるようになりました。

さあ、これからという2年目に新型コロナウイルスのパンデミック。カフェは臨時休業を強いられました。そこで、弁当の宅配サービスと地域産米の販売を始めました。新たな地域資源の活用により、地域力の底上げに挑戦できたと思

自分自身の3年間で 振り返って

こんなにもたくさんの方の仲間に囲まれて幸せです。3年前、協力隊を始めたころはこんなことは想像できませんでした。自分は特別なスキルも経験もなく、取りえと言えは明るい性格だけ。大きなことを成し遂げる自信はありませんでしたが、「力を貸してください」とお願いする



地元産にこだわった「季節の定食」



里山の景色を守りたいと「みそぎ米」を販売



教室の雰囲気を生かして活用

います。
3年目には、新しい仲間を迎え、学園祭のように巡って楽しい校舎に変わりつつあるのを感じています。みそぎの里に関わってくれる人や来てくれる人が増えたことで、以前、広報うちこで語った「『ようこそ、みそぎの里へ』と、もつとたくさんの人に言いたい」という思いがなくなっています。

これからは、御祓の暮らしをつなぐ一人として

あつという間の3年間でしたがとても充実した日々でした。今までは駆け足だったけれど、これからは御祓の住民として、ゆつくりと着実に歩んでいきたいです。

御祓地区の10年後、20年後を考えたとき、担い手不足や人口減少は避けられません。今ある景色はいつかは変わってしまう。でも、何もできないのは悔しいし、少しでもあらがいたいのです。諦めずに前を向くことで未来は変わると信じています。

今はこうして手をつなげる仲間が増えたのだから――。



広報うちこ 2019. 10月号 特集
ようこそ、「みそぎの里」へ



コミュニティカフェ「みそぎの里」を特集した号です。ぜひ、合わせて読んでみてください。



QRコードをスキャンすると簡単に見られます。



上_「どのコーヒーミルも味わいがあって、愛着がわく」と黒岩さん 右_こだわりの挽きたてコーヒーは絶品 左_さまざまな古道具がずらり

コーヒーと古道具の深い味わい

黒岩 健介さん=成内=

コーヒーと古道具が好きで、いつか店を開きたいと思っていました。みそぎの里は水道などの設備が整っていて、負担感なく始められたのがよかったです。元家庭科室で、調理器具などが並んでいた棚にコーヒーミルを並べました。いい感じになって気に入っています。先生が立つ教卓に店主の私が立っているのも面白いと思います。お客さんからは「コーヒーを飲みながら古道具を見るのが楽しい」と言ってもらいました。ホッとできる場所なので、気軽に足を運んでもらえたらいいですね。

古道具屋として、古民家整理の手伝いや空き家の活用などについて考えています。来たからには自分が楽しく暮らしたいし、地域に何か還元したいです。ここをきっかけにして、地域で店を開く人が出てきたらどんどん面白くなりそうです。

教室の数だけ広がるワクワク感

青山 優歩さん=成内=

私が初めてカフェ以外の教室を活用し始めたので、水谷さんたちと一緒に片づけをしたことを思い出します。掃除をして図工室に印刷機や本を並べると、徐々に店の形ができてきてワクワクしました。今は仲間も増えて、できることが広がり、これからここでの活動が楽しみです。今後も印刷を通して大洲和紙の魅力や用途を広げていきたいです。

水谷さんは地域のことや人をよく知っていて、地域への愛情を感じます。そこがすてき。水谷さんがいるから、ここを選んで移住したのだと思います。私たちはまだ地域の皆さんと会う機会が少ないけれど、もっと御祓地区のことを知りたいです。今年はみんなで田んぼを借りて米作りをするので、楽しみにしています。地域の皆さんともお話しできて、ふらっと立ち寄ってもらえるような場所になればうれしいです。



上_活版印刷機で一枚一枚、手作業で印刷する青山さん 右_青山さんが手がけた和紙小物 左_図工室のロッカーは図書棚に

私たちも一緒に言わせてほしい

「ようこそ、みそぎの里へ」

「みそぎの里のこれからを語れる仲間が増えてうれしい」と笑顔で語る水谷さん。中には御祓地区に移住を決めた人もいます。ここでは新しいメンバーの個性あふれる活動と思いを紹介します。



上_保健室は妻のわけみほさんの作品のギャラリーにもなっている 右_娘さんが作ったビーズアクセサリーも販売 左_施術する保典さん

ユーモアとセンスがあふれる保健室

和氣 保典さん=上村=

五十崎地区に「うちっこ整体」を開いています。来店できない人にも施術したいという思いで、みそぎの里の保健室を借りて、カフェがある日にこちらで営業しています。お客さんがリラックスできるような会話も楽しんで、凝りだけでなく気持ちもほぐせるような施術をしたいです。

保健室ですするというのも魅力ですが、みそぎの里の皆さんの楽しそうな雰囲気が一番惹かれました。人が集まる場所にはパワーを感じます。家族も出品して、一緒に盛り上げようと話しています。「他の教室もすてきですよ」と言い合えるっていい関係性だと思います。お客さんや地域の人とは「みそぎの里ってすてきですよ」と言ってもらえる関係性を広げたいです。これからここでのたくさんの出会いを楽しみにしています。

和紙に残す思いは1000年先へ——

浪江 由唯さん=川上=

紙の産地がある移住先を探していて、御祓地区にたどり着きました。生活と仕事を大事にできる場所に住みたいと思っていたので、暮らしぶりが垣間見える田園風景に魅力を感じました。紙にまつわることを生業にして、ここで生きていきたいと思います。ゆるやか文庫の青山さんやとおん舎のわけみほさんなど、紙を使って楽しく活動している人々とも出会い、自分の活動の幅を広げたいと感じました。縁をつないでくれた水谷さんに感謝です。

これから地域の文化や暮らしを紙で残す活動をしたいと考えています。和紙は1,000年以上の保存に耐えられるといわれていて、その原点は「何かを伝えたい」「残したい」という思いだと思います。この地域の歴史や皆さんの思いなど、たくさん知りたいので新入りの私たちにいろいろと教えてほしいです。



上_紙が大好きで、世界の紙工房を一年かけて旅した浪江さん 右_かわいい紙小物が並ぶ 左_タイ式の製本で作られたノート



水谷さんが「地域 みんなでつくった場所」と話すように、みそぎの里にはたくさんの方々が協力しています。そこから生まれる活動に多くの方がワクワクし、生きがいを感じるようになりました。人口は減っても、心は豊か——。水谷さんの思う地域活性化の姿がここにはあります。

みそぎの里のにぎわいは地域の力

「元気もらっとるよ」



上岡 豊秋さん＝谷＝

まだまだ御祓は頑張れる
若者の思いに地域も応えたい

水谷さんのような地域のために一生懸命の子が御祓に来てくれて良かった。最初は心配してたけれど、僕らにも頼ってくれて、地域を巻き込んで上手にやってくれたと思います。厨房の改造などを手伝ったこともあり、カフェのお客さんの「おいしかった」「また来たい」という声は、僕らも自分事のようにうれしいです。

一人で始めた県道沿いの花植えの範囲を、少しずつ広げています。たくさんの方が御祓を訪れるようになったから、少しでも多くの人に「御祓はええとこじゃな」と思ってもらえるよう、ぼちぼち頑張りたいです。わざわざ足を運んでくれるお客さんや移住してくる若者が増えたのは、地域の大きな変化です。僕らにとっては当たり前の暮らしですが、それを守ることの大切さを気付かせてくれたと思います。



吉本 三紗さん＝藤社＝

懐かしさと面白さを感じる
楽しい場所に——

御祓小学校の最後の卒業生です。高校3年生のとき、半年ほどみそぎの里のカフェの手伝いをしていました。2年ぶりにみそぎの里に来てびっくり。2階の教室におしゃれな店がたくさんできて、楽しい場所に変わっていました。

各教室を周って、青山さんがデザインした和紙のメモ帳を購入したり、浪江さんが集めた世界の手すき紙を使ってオリジナルの手帳を作ったりしました。まさか御祓で心がときめく買い物ができるなんて思ってもいませんでした。今度は友達を連れてきたいです。

教室には昔の写真や道具なども残っていて、私たちの思い出も大切にしているのが伝わりました。小学生の頃を思い出して、とても懐かしかったです。閉校したときは寂しかったけど、卒業しても母校にいつでも戻れるのはうれしいです。



向居 辰美さん＝谷＝

みそぎの里の明るい話題で
家庭と地域の笑顔が増えた

カフェのリニューアルのとき、カウンターや天井の照明を作る手伝いをしました。水谷さんとアイデアを出し合ったり、地域の人々にも声を掛けて作業したり。水谷さんは一人でやってしまうのではなく、いかにみんなと一緒にやるかを考えてくれています。これからも地域に甘えてほしいし、できることで力になりたいです。

妻がみそぎの里のカフェを手伝い始めてから、なんだか楽しそう——。カフェがあった日は、「野菜をおいしいと言ってくれた」「地域の方が来てくれた」と、いろいろな話をしてくれます。妻の笑顔が増えたと、地域にも明るい話題が増えました。小学校がなくなったとき、若い人が離れてしまうと不安でした。今では何かしようと若い子たちが集まり、活気を感じます。みそぎの里から地域に元気が広がればいいですね。



力石 淳子さん＝川上＝

カフェに広がる笑顔は生きがい
私たちも地域の力になれる

カフェをリニューアルしてから地元産にこだわったランチを出すようになりました。「田舎のお母さんの懐かしい味」「御祓の米と野菜はおいしい」と評判です。徐々にお客さんが増え、今では多いときで1日50人を超えるようになりました。何回も来てくれる人もいて、顔を見るとうれしいし、やりがいを感じます。

父もカフェがある日は、朝から野菜を収穫して準備してくれています。喜んでもらえることが楽しみのなっているようです。私は調理や味付けの担当。新鮮なものや旬なものをよりおいしく食べてほしいと腕を振るっています。カフェのメンバーにもそれぞれ活躍の場があって、「私たちだって地域の力になれるんだ」と実感しています。営業後は足腰が痛くなるけれど「またやろうな」と笑い合っています。



人口が減るなら、関わる人を増やして御祓地域への愛を増やせばいい、そしてその思いを膨らませばいい——。水谷さんの地域おこし協力隊としての3年間は、そんな活動だったことが、取材した皆さんの言葉から伝わってきました。住民の皆さんのことをよく知り、その気持ちに寄り添い、「なんかはせんといいけん」と思っている人の背中を優しく押す。その姿勢が多くの人々の地域愛を膨らませてきたのだと思います。「訪れる人との出会いを大切にしたい」「もっと御祓の魅力を伝えたい」「やっぱりここが好きだ」——。手をつなぐ仲間がどんどん増えて、たった3年間で驚くような変化が地域に起こりました。

協力隊を卒業した後も地域とともに歩むことを決めた水谷さん。最後の報告会では「仲間に恵まれて感謝の気持ちでいっぱい。これからも、ゆっくりだけど着実に、一緒に前を向いて進みたい」と涙を見せました。みそぎの里を通じて、少しずつみんなが育んでいる御祓への思い。一人一人の地域への愛が膨らめば、本当に未来を変えられるのかもしれない——。

やっぱりこの地域が好き——

膨らまそう、みそぎ愛

kami/(かみひとえ)の浪江さんが作ったハート型の和紙

文化交流都市協定

豊島区 × 内子町

内子町の伝統技術と木材で笑顔の交流 「木のおもちゃオリンピック in としま」

26日に行った「木のおもちゃオリンピック in としま」では、内子町産の木を使った「麻の葉文様のオブジェづくり」と「輪ゴム鉄砲射的対決」を実施。内子手しごとの会の山本勝美さんが講師となり、伝統技術や遊びを通じて子どもたちとの交流を深めました。豊島区の戸澤創太くん（目白小4年）は「木をはめ込むのが難しかったけれど、いい作品になった。今度は輪ゴム鉄砲も作ってみたい」と笑顔を見せてくれました。



1_木のコマや輪ゴム鉄砲など豪華な景品で参加者を喜ばせていた 2_魔除けの願いを込めた「麻の葉文様づくり」に熱中 3_狙い方のコツなどを教えて交流していた

「としま×うちこ文化交流都市協定」の調印式が12月27日、東京都・豊島区役所で行われました。今後は文化・芸術を中心とした幅広い分野で両区町の交流と発展を図ります。26・27の両日には、同区の舞台芸術交流センター「あうるすぽっと」で2つの催しを行い、協定締結に花を添えました。

文化交流で相互に発展

文化交流都市協定の調印式には、高野之夫区長と小野植正久町長、両区町議会の議長・副議長、内子町まちづくり応援大使の関口照生さんと竹下景子さんなど18人が出席しました。

和やかな雰囲気の中、高野区長と小野植町長が協定書に署名。交流の証として、豊島区の伝統工芸士・早川福男さんが制作した江戸提灯と、内子手しごとの会の手作り行灯を贈り合いました。高野区長は「今後はさらに交流を深めて、両区町の持続的な発展につなげたい」と協定締結に期待を寄せました。

豊島区ってどんな町

豊島区の人口は約30万人。区の面積は13平方キロメートルで、



「柿山伏」を披露した城戸景道さんと森川路仁さん

子どもたちが目指してきた夢の舞台 「東西狂言 in としま 2021」

「東西狂言 in としま 2021」は27日に公演され、約160人が来場しました。東の能楽師和泉流狂言方・野村万蔵さんと、西の能楽師大蔵流狂言方・茂山千三郎さん、内子こども狂言くらぶの子どもたちが共演。平成28年の内子座創建100周年の記念行事で行われた舞台の再現となりました。

同くらぶから選抜された10人が「柿山伏」「かみあそび」の2曲を披露。白石晟柊くん（立川小5年）は「ずっと楽しみにしていた東京公演。緊張したけれど、やり終えてよかった」と声を弾ませました。



「かみあそび」を演じた皆さん。野村万蔵さんと茂山千三郎さんと記念撮影



1_本番前の楽屋。期待と緊張でそれぞれの時間を過ごす 2_内子町の魅力が詰まった新作狂言「かみあそび」が東京都・豊島区の舞台上に 3_子どもたちの熱演が光る

交流の軌跡

内子町は平成22年から巣鴨地蔵通りでの「内子フェア」や、豊島区主催の観光物産展などに、交流と連携を深めています。最近では内子手しごとの会の協力で、豊島区内の小学校に町民が訪問してミニ行灯などを一緒に作る「伝統工芸制作体験教室」を行っています。



高層マンションと一体型の豊島区庁舎

人口密度が日本一高い都市です。日本有数の繁華街の池袋や、「おばあちゃん原宿」と呼ばれる巣鴨があります。マンガ界の第一人者手塚治虫氏や藤子不二雄(ふじふたご)氏が下積み時代を過ごした「トキワ荘」があり、マンガやアニメなどを中心に、新しい文化を生み出してきた町でもあります。現在は伝統文化から最先端のサブカルチャーまで、多様な文化資源を生かす「国際アート・カルチャー都市構想」の実現に向けてまちづくりを進めているそうです。



勢いよく燃え上がる上村区のどんど焼き

燃え上がる炎に願いを込めて 小正月に町内各地で「どんど焼き」

新年の恒例行事「どんど焼き」が内子町内の各地域で行われ、1年の無病息災を願いました。

上村区のどんど焼きは1月9日、五十崎風博物館前の河原で開かれました。餅つきをやめるなど規模は縮小しましたが、約30人が参加。4人ほどもある高いどんど焼きに年男・年女が火入れし、コロナの収束も一緒に願っていました。



購入者にも生産者にも感謝の気持ちを込めて――

おにぎりを食べて田んぼを守ろう 小田の若者たちが「おにぎり販売会」

小さな田んぼプロジェクトのメンバーによる「おにぎり販売会」が1月9日、道の駅小田の郷せせらぎで行われました。同プロジェクトは小田の棚田の風景を守るため、小田米のおいしさを広げる取り組み。焼きおにぎりなど約200個を完売しました。全種類食べたという松井志緒莉さんは「どれもおいしかった。地元の良さに気付くすてきな取り組みなので応援したい」と顔をほころばせました。



瀧野さんに鳥の特徴などを聞きながらの観察会

双眼鏡の向こうに広がる鳥の世界 身近な自然から学ぶ「野鳥観察会」

野鳥を見て自然を学ぶ「野鳥観察会」（大きな榎の木の下で他主催）が1月15日、五十崎自治センター周辺で行われました。環境マイスターの瀧野隆志さんが講師。カルガモやダイサギを見つけると子どもたちに伝え、一緒に双眼鏡などで観察していました。瀧野さんは「生きている野鳥の姿から、ふるさとの自然を守ることの大切さを感じ取ってほしい」と思いを語りました。

県市町広報コンクールで2部門特選 『広報うちこ』が10年連続で全国へ――

愛媛県市町広報コンクールが1月20日に開かれ、『広報うちこ』が広報紙町部と組み写真の部で特選を受賞しました。講評では「表紙から引き込まれた」「『いま住んでいる人の幸せが一番』など、胸に響く言葉がちりばめられている」と高い評価を受けました。受賞はいつもすてきな笑顔や頑張る姿を見せてくれる皆さん、読んで応援してくれる皆さんのおかげです。本当にありがとうございます。

もしもの時に備えて連携を確認 住民と消防団員らが合同の防災訓練

内子地域を対象とした「内子町防災訓練」が12月5日、内子運動公園総合グラウンドで行われました。2年に1度、旧町ごとに行う大規模訓練で、今年は内子地域の消防団や自主防災組織、内子消防署など約180人が参加しました。応急手当や搬送訓練のほか、大地震を想定した救助訓練などを行いました。参加者は「訓練で学んだことを有事の際の迅速な活動に生かしたい」と話しました。



建物の倒壊を想定し、がれき救助の訓練をする消防団員

正月の定番イベントを目指して 「新春リアルすごろく大会」を初開催

初めての企画「新春リアルすごろく大会」が1月3日、五十崎風博物館で開かれました。正月の家族の楽しいひとときを、風博物館でも過ごしてほしいと五十崎自治センターが主催。サイコロの目の数だけ進みながら、風に関連するカードを集めて点数を競う内容で、大人も子どもも楽しそうに遊んでいました。家族で参加した尾花慎太郎さんは「クオリティが高く童心に返って楽しめた」と笑顔でした。



風博物館が巨大すごろく会場に

野球部のお兄さんたちと一緒に遊ぼう 児童クラブの子どもたちが野球で交流

スポーツに親しむ機会を増やそうと「野球体験交流」（内子児童館主催）が1月6日、内子中学校で行われました。同校と五十崎中学校の野球部員が、内子児童クラブの子どもたちにボールの投げ方や打ち方を教えて交流しました。野球部監督の上田清治さんは「野球をする子どもが減っている。楽しさを知って野球人口が増えたら」と期待を寄せていました。



野球初体験の子どもたちに優しく教える中学生

セリ、ナズナ、ゴギョウ、ハコベラ見つけたよ 正月恒例の「春の七草探し」

正月の伝統文化を伝える「春の七草探し」（内子自治センター他主催）が1月8日、内子児童館で開かれ、地域住民や子どもたち36人が参加しました。子どもたちは七草を構成する野草を学んだ後、沖田の田んぼで七草探しに挑戦。見つけるたびにうれしそうに声をあげていました。児童館厚生員の森美佳さんは「昨年は中止したので、新年からみんなの笑顔が見られてよかった」と喜びました。



袋がいっぱいになるくらい七草を集める子どもたち



特選を受賞した1月号（組み写真）と12月号



令和3年 内子町成人式

photo & message

新型コロナウイルスの影響で延期していた「令和3年内子町成人式」が1月8日、共生館で開かれました。対象は平成12年4月2日～13年4月1日生まれの159人で、その内89人が出席しました。式では成人代表の西川歩香さんが「一人の大人として柔軟に対応し、責任のある行動をとりたい」と誓いの言葉を述べました。その他の内容などを写真とメッセージでお伝えします。

意見発表をした新成人の皆さん

Opinions of some new adults



小田地区代表
梅川 涼さん=新田第2=

自分を見失わず、家族や友達を大切に生きる

地域の笑顔を守るため、警察官になりました。まだ未熟ですが、選んだ道を信じて頑張ります。私にとって友達は、笑い合い助け合うことができるかけがえのない存在です。会える日は減りましたが、これからもすてきな仲間でいましょう。



内子地区代表
新田大貴さん=上立山=

ふるさとや友達、そしてささやかな幸せを大切に

私にとって内子町は、絶えず心の栄養をくれる大地です。そして、この揺るがない地盤があるからこそ、強く踏み込み、高く飛ぶことができます。将来、私もこの豊かな大地を耕し、未来につなぐ手伝いができればいいと思います。



五十崎地区代表
宮岡純也さん=東沖=

夢、希望、熱意を持って地域社会に貢献したい

これまでの人生は多くの人に支えられ生きてきました。家族や友人、恩師の先生、地域の人々——。感謝の気持ちを胸に勉学に励み、卒業後は大好きな愛媛の地に帰りたいです。今までの恩恵を社会に還元できるよう精進します。



大瀬地区代表
中田美咲季さん=本町2=

多くの学びと出会いの場内子町への感謝と恩返し

友人たちと再会し、大瀬で過ごした日々がよみがえりました。笑顔や会話の絶えない地域で、私が目指す看護の現場で大切なことを学んでいたと思います。今はコロナ禍で大変ですが、看護師として社会に貢献できるよう頑張ります。



式典や記念行事などの様子

1_ 恩師と記念撮影する五十崎中学校出身の皆さん 2_ アクリル板や広い座席間隔など、例年とは少し違う会場の雰囲気 3_ 誓いの言葉を述べた西川さん 4_ 受け付けでの姿も大人の雰囲気 5_ 成人代表で記念品を受け取った福井方貴さん 6_ 真剣な表情で恩師からのメッセージに耳を傾ける 7_ 報道陣に囲まれる出席者。延期された成人式だったため、テレビ局などの取材が多かった



成人の言葉 — 新成人の決意、思い、抱負 —

芝 絢音さん(大瀬出身)

春から幼稚園で働くので、子どもをよく理解できる明るく元気な先生になりたいです。



川本夏葵さん(五十崎出身)

上司や先輩にたくさん助けてもらっているから、早く一人前になりたい！



一宮朱里さん(大瀬出身)

つらいことがあっても笑顔を絶やさない、すてきな女性になりたいです。



萬奥脩貴さん

菊池天馬さん(内子出身)

元気であるのが一番の親孝行。きちんと就職して親を安心させます。



中川 司さん

武岡祐希さん

社会人になったら大変なこともあるけれど、笑顔で乗り越えて人生を楽しみます！



松本 望さん

保育士として自分の得意なところを見つけて、仕事の幅を広げたいです。



東 優真さん(五十崎出身)

人を惹きつけられるカッコいい大人になって、内子町を元気にします！



高本優貴さん(小田出身)

食に関する仕事に就きたいです。皆さんに健康と幸せを届けられたいいな。



戸玉紀江さん(小田出身)



記念品を受け取る河井公平さん



思い出のタイムカプセルを開く



晴れ晴れとした表情の新成人が集まり華やかな会場



検温や手指消毒などを徹底



誓いの言葉を述べた高橋実夢さん

令和4年
photo & message

内子町成人式

「令和4年内子町成人式」が1月9日、共生館で開かれ新成人138人(対象者172人)が出席しました。式では小野植正久町長が「難局を乗り越えて大人に成長されたことを誇らしく思う。皆さんの力をふるさと内子の発展に貸してほしい」と式辞を述べました。厳重な感染予防対策の中で行われた成人式でしたが、新成人の笑顔が希望の光のように輝いていました。

意見発表をした新成人の皆さん

Opinions of some new adults

今を大切に、仲間を大切に
前向きに生きていきたい

世界全体の常識が変わる中、
私たちはそれを一番初めに受け止めている世代だと思います。就職活動も前例のない環境で活動しなければなりません。険しい道ではありますが、自分たちが先頭に立つつもりで日々精進していきたいです。



小田地区代表
越智慎之介さん=小田下=

これまでの経験を土台に
新たな道をまっすぐ進む

今日、成人式を迎え、身の引き締まる思いでいます。私は大学卒業後は愛媛県で警察官として、地域の安心と安全を守りたいと考えています。一度決めたことから逃げずに進み続けてきた自分を信じて、一歩ずつ前に、前に進みます。



内子地区代表
大西朱星さん=内子8=

苦難が将来の糧になると
信じ、大学生活を送りたい

私は今、大学で放射線技師になるための勉強に励んでいます。たくさんの知識と技術を身に付け、患者さんの診断や治療に役立てよう頑張ります。温かく見守ってくれる両親への感謝を忘れず、立派な大人になって親孝行したいです。



五十崎地区代表
渡邊久展さん=岡第2=

ふるさとに「ただいま」と
胸を張って言える大人に

私は現在、建築士の資格取得を目指しています。恩師や内子の人々、応援してくれる親のおかげで、住居という面から町に貢献する夢を持つことができました。これから多くのことを学び、自分自身に胸を張れるすてきな大人になりたいです。



大瀬地区代表
谷宮麻緒さん=路木=

20歳の言葉

—— 新成人の決意、思い、抱負 ——

河井公平さん(内子出身)

人生まだまだこれから！コロナに負けず、仕事もプライベートも頑張ります！

池田泰征さん

佐野あやなさん(五十崎出身)

二十歳の自分への手紙に書いていた言葉。「失敗を恐れず、挑戦しろ」を実践します。

市川ゆいさん(小田出身)

幼いときに母を亡くし多くの人に支えられてきたので、その恩返しをしたいです。

梶野瑞葵さん(大瀬出身)

笑顔の絶えない家庭を築くのが夢。いつか結婚してその夢をかなえたい！

山田沙依さん

宮部篤史さん(五十崎出身)

仕事も私生活も一日一日を大切にしたい。人生を送りたい！

向成香音さん(内子出身)

いつまでもかわいく元気に過ごしたい。明るく生きていけば幸せになれると思います。

大森美里さん(小田出身)

大学のバンドサークルでボーカルをしているので、音楽を通して人を笑顔にしたい！

河野龍雅さん(大瀬出身)

家族みんな仲がいいので、たまにはプレゼントをして少しずつ恩返しをしたいです。

西野夏那さん(五十崎出身)

夢をかなえるために、勉強を頑張ります。みんなに安心を与える警察官になるぞ！





HAPPY BIRTHDAY

おめでとう はじめてのバースデー

2月に満1歳になる子どもたちを紹介します。



2.14 藤岡 慎くん 小田下
毎日全力、元気いっぱい！笑顔
いっぱい！家族の癒しです♡



2.7 八雲 瑛心くん 平野
お姉ちゃん大好き♡いつもここ
に元気いっぱいです！



2.6 徳田 雅久くん 内子7
いたずら大好き。早く歩けるよう
になって、お姉ちゃんと遊ぶぞ！



2.28 山内 茶和ちゃん 寺成
私がお芋が好きです。早くお芋の
栽培ができるようになります！



2.23 尾上 伊織くん 内子19第2
ねえねとににに大好き♡いつも
一緒に遊んでくれてありがとう！

「はじめてのバースデー」への
掲載案内は、誕生月の前々月上
旬にお送りしています。
ぜひ、応募してください。

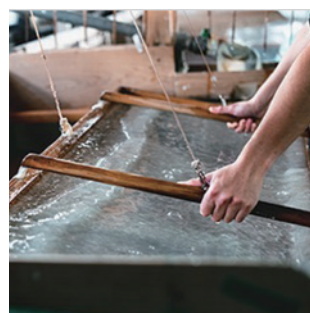


INSTAGRAM みんなが見つけた／
内子のいいところ「うちコト」

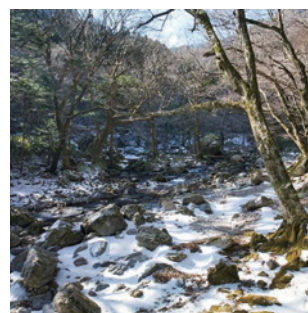
「#うちコト」を付けて投稿してくれた写真
を紹介します。皆さんも#うちコトで内子町
の「すてき」を投稿してみませんか。

uchikoto_official

見るだけでも楽しめるよ
ぜひ、フォローしてみね！
QRコードをスキャンする
と簡単に見られます。



ikazakishachuさん
寒い日も、かじかむ手で和紙作り。



hiroshi320dさん
冬景色の小田深山溪谷を散策。

FROM ME TO YOU



みんなであつないでリレーエッセイ



住めば都

盛岡 あすかさん(41)

〓日之地〓

父が生まれ育ち、祖母が今
も暮らす内子町。この町に移
住して1年半が経ちました。

実はこれが私の人生3度目の
移住です。
1度目は生まれてすぐに父
の転勤で愛媛から東京へ。大
学を卒業するまで過ごしまし
た。私の意志とは関係ないも
のでしたが仲間にも恵まれ、い
い青春時代を過ごしました。
2度目は24歳のときに東京
からタイへ。大学の授業の一
環で訪れたタイが忘れられ
ず、自らの意志で日本を飛び
出しました。言語は現地で習
得し、運よく職も得ました。
仕事の傍ら、教育支援のNG
Oにも関わり、充実した14年
間を過ごしました。この2回
の移住を振り返り思うことは
「住めば都」です。始めは慣れ
ない土地でも、長くいれば友
もでき、生活にも慣れ、住み
心地がよくなります。
3度目は幼い頃に父の里帰
りで連れられ、よく訪れてい

たこの内子町。タイで知り合
い結婚した旦那と2人で移住
しました。
現在は1年後の新規就農を
目指し、旦那と共に農業を研
修中です。祖母が守り続けた
田畑と山の再活用も始めまし
た。花木を育て、好きなドラ
イフラワーにも取り組んでい
ます。ドライフラワーの作品
は月に1回、立川地区で行わ
れている「軽トラ市」で展示
しています。交友関係も少し
ずつ広がり生活が充実してき
て、内子町が私にとって「住
めば都」になりました。
出会いとつながりを大切に、
日々楽しんでいきたいと思っ
ています。まだまだ内子町初
心者ですが、皆さんよろしく
お願いします。

▼次は、伊藤寛了さん〓本町1
〓にお願ひします。

監修 内子町食生活改善推進協議会

今月の食改さん



吉岡 文子さん
＝西沖＝

●材料(4人分)

小松菜	200g
えのきたけ	120g
かつお節	8g
塩	適量
しょうゆ	大さじ2/3
④ 砂糖	小さじ3
酢	大さじ1

●作り方

- ①鍋に湯を沸かし、塩を入れ、小松菜をゆでる。
- ②ゆでたら冷水に入れて、水気を絞る、4分の長さに切る。
- ③えのきたけは根元を切り落とし、半分の長さに切る。熱湯でさっとゆで、水気を切っておく。
- ④ボウルに小松菜とえのきたけを入れ、④の調味料をあえて完成。



季節の一皿
SPECIAL DISH

「小松菜のおかかあえ」

Q 広報クイズ

「広報うちこ」2月号を読んで、①～⑤番の丸印をひらがな・カタカナでうめてください。小さい「っ」「ゅ」や、「が」などの濁音も一文字とします。「●」の文字を①番から順につなぐと、ある言葉になります。どんな言葉でしょう。

- ①健康づくりに役立つ「●○○○○○
○○」表示を活用しよう
- ②ごみを山林や道路沿いなどに捨てる行為、「○●○○○○」は犯罪です
- ③セリ、ナズナ、「○○○●」、ハコベラ
見つけたよ。正月恒例の春の七草探しを開催
- ④今月の季節の一皿は、「○●○○」のおかかあえ
- ⑤文化・芸術を中心とした幅広い分野での交流と発展を図るため、東京都豊島区と内子町が文化交流「○○●○○○○」を締結

応募方法：

ハガキに答え、氏名、住所、年齢を書いて送ってください（1人1通まで）。正解者の中から抽選で10人に図書カード（500円）をプレゼントします。宛て先：〒795-0392 内子町役場 総務課 広報・広聴係 締め切り：2月28日（消印有効） 当選者発表：「広報うちこ」4月号

● 12月号当選者の皆さん

答え「くりすます」 正解数31

- ・大島つる代さん（内子18第1）
- ・大本 悦子さん（内子18第2）
- ・松田 満美さん（内子19第1）
- ・矢野イクエさん（護国）
- ・大野 千里さん（池田）
- ・松本美智恵さん（妙見町）
- ・岡田 悦子さん（岡第2）
- ・松田 敏江さん（寺成）
- ・阿達 君江さん（大洲市）
- ・利行 愛里さん（大分県）

ごみを山林や道路沿いなどに捨てる行為を不法投棄といえます。家電製品や粗大ごみはもちろん、ペットボトルやたばこの吸い殻などのポイ捨ても不法投棄です。違反者には、5年以下の懲役もしくは



不法投棄は
犯罪です



町内の山林に捨てられた家電製品

1000万円以下の罰金、またはその両方が科せられます。

不法投棄されたごみは、投棄した人が分らない場合、原則として土地の所有者（管理者）が処分することになります。ごみの多くは、荒れた土地や人目につかない場所に捨てられているため、定期的に草刈りをしたり、ロープや柵を設けたりして、不法投棄を未然に防ぎましょう。

【問い合わせ】
環境政策室
☎0893(44)6159

● 不法投棄を見かけたら
分かる範囲で次のことを記録し、環境政策室または警察へご連絡ください。
▽発見した日時、場所、捨てられたごみの種類や量
▽不法投棄をした人の人数や特徴、また乗っていた車の種類やナンバーなど
※町では不法投棄の対策として啓発看板を提供しています。必要な場合は環境政策室までご相談ください。



皆さんの「声」をお寄せください

「広報うちこ」では、皆さんからの「まちの声」を募集しています。まちづくりや行政に対するご意見、身近で気になる話題など、内容は問いません。ぜひ皆さんの「声」をお寄せください。

【宛先・問い合わせ】
内子町役場総務課
政策調整班広報・広聴係
〒795-0392
内子町平岡甲168番地
☎0893(44)6151
✉koho@town.uchiko.
ehime.jp

心に榎と小田川の景色をいつまでも

大きな榎の木の下で

子どもたちの自然を大切にすることを育む活動をしている「大きな榎の木の下で」に愛媛県青少年育成協議会より感謝状が贈られました。活動が始まったのは30年前。「小田川と大榎のある景色をいつまでも守りたい」という思いで始まりました。

グループの会長を務める小野里枝美さんは「五十崎は景観保全の意識が高い人が多い。昭和58年ごろにコンクリートの護岸整備の計画が上がったとき、河原の樹木や生き物を守ろうと住民運動が起こった。住民有志がスイスまで行って、日本では前例がなかった近自然工法という方法を学びに行ったほど。私たちもその思いをつなぎたい」と力を込めます。

毎年12月、グループ名と同じ「大きな榎の木の下で」というイベントをしています。豊秋河原周辺のごみ拾いをした後、紙芝居を見たり、ケーキを食べたり——。小野さんは「子どもたちの笑顔が何より。大人になってから手伝いに来てくれる子もいる。これからも小田川と大榎を好きになってもらえるような活動を続けたい」と笑顔で話しました。



TOWN'S STAR

内子町の人☆キラリ

初めまして、ディロン・バーンズです



イヴァンジェリンさん（左）とディロンさん



HELLO!!!

FROM AROUND THE WORLD

外国語指導助手

ディロン・バーンズ

Dillon Barnes

皆さん、こんにちは！ ディロン・バーンズです。アメリカのコロラド州から来たばかりで、内子町の仕事や生活をとても楽しみにしています。

5年前、大学在学中に5カ月ほど京都へ留学したことで、日本の文化や日本語をもっと学びたいと思うようになりました。日本にまた来たいとずっと思っていたので、念願がかなってうれしいです。内子座で文楽や狂言を観てみたいし、書道も習いたいです。この町の魅力や日本の良さをたくさん体験したいです。日本語はまだあまり上手ではありませんが、上達できるよう日頃から練習を頑張っています。私を見かけたら気軽に話しかけてくださいね。

将来は児童図書館で働くのが夢で、大学では図書館学を学びました。学位取得のためにボルダー公立図書館に3年間勤務し、乳幼児や子どもたちに読み聞かせをしたり、中高生へ読書会を開いたりしていました。ここでも子どもたちのために仕事ができることが楽しみで、胸を膨らませています。読書の他にサイクリングや編み物、ビデオゲームも好きです。

私は昨年7月にパートナーのイヴァンジェリンと結婚しました。準備が整ったら彼女もこちらへ来る予定で、私の内子町での冒険に参加するのを心待ちにしています。皆さんとの出会いや交流を楽しみにしていますので、これからよろしくお願いします。



歴代ALT・CIRレポート vol.10 Deliana Dalton

デリアナ・ダルトンさん(ALT:2017.7～2018.7 /アメリカ・コネチカット州出身)

今の私——My Life Nowadays——



皆さん、お久しぶりです。現在の私は、リモートを駆使して、仕事も勉強もやりたいことができていますので、そのことについてお話しします。



森のクロクマ

近所の森へよく散歩に出掛けて、野生動物に出会うのを楽しんでいます。時々、家の外に野生のクロクマがやって来ることもあるんですよ。



得意の編み物

家で過ごすことが多くなったので、得意の編み物の腕が上がりました。2021年は着ているセーターを含めて、3着も編むことができました。

Dear friends in Uchiko,

内子を去ってもう3年が経ちました。2020年はコロナ禍のため、できる限り外出を控えました。前のような生活ができなくてつらかったけど、家族は元気で過ごせたので感謝しています。それから初めて一からコンピューターの組み立てに挑戦するなど、自分の好きなことに取り組みました。

いろいろ遠隔でできるようになり、私の住むコネチカット州の田舎でもできることが増えました。リモートで日本人の先生から日本語を学んだり、各国の人と「暁のヨナ」という漫画を音読したり英訳したりするクラブに参加できました。

仕事もリモートでできるようになったおかげで、カリフォルニア州に本拠地を置く会社に入社できました。勤務時間はカリフォルニア時間なので、時差があってちょっと大変です。でも子どもにコンピュータープログラミングを教える会社なので、自分の大好きなコンピューター技術と教育を融合する仕事ができ、とてもうれしいです。

ワクチン接種を受けて、ようやく家族と再会で

きました。内子の皆さんにも会いたいけど、海外旅行ができる日はまだ遠いみたい。今はアメリカでみかんや柿を食べたり、日本語を勉強したりして、内子を思い出すことしかできません。皆さん、また会える機会が来るまでお元気で！



(内子町での思い出) 1_一緒に活動してきた皆さんとお別れ会で歌を披露 2_子どもたちとツイスターゲームで遊んだ 3_浴衣で日本の祭りを楽しんだ 4_両親や友人家族と三島神社へ初詣

【寄付のお礼】 山岡 晋様より内子町国際交流協会へ寄付をいただきました。心からお礼を申し上げます。

図書館へ 行こう

内子町図書情報館

〒791-3301
内子町内子3427番地
☎ 0893(44)4198
🌐 <https://www.town.uchiko.ehime.jp/>
開館時間：
午前9時30分～午後6時
休館日：月曜日・月末整理日

●入館者60万人を達成

平成16年4月に開館した図書情報館の入館者数が60万人に到達しました。60万人目となったのは、守野愛梨さん・陽向さんのきょうだいで、認定証と記念品が贈られました。宮瀬館長は「図書情報館の魅力を発信して、さらに多くの人に利用してほしい」と話しました。



記念すべき60万人目になって、笑顔で認定書を受け取った2人

●ホームページの便利機能を紹介します

図書情報館のホームページには、本を借りたいときなどに使える便利な機能があるので、いくつか紹介します。ぜひ活用してみてください。

▽図書館検索システム

図書情報館に行かなくても、「図書館検索システム」を使えば、図書情報館や分館にある本の検索や予約、貸し出しの延長ができます。

▽予約メール送信

予約された本などの貸し出し準備ができたことを、メールで知らせる機能です。

▽マイ本棚

読みたい本や読み終わった

本を登録して、読書ノートを作れます。さらに書評を読んだり書いたりすることもできます。
※使い方など詳しいことは図書情報館のホームページをご確認ください。



●2月企画展のご案内

《郷土が生んだ芸術家⑦》
▽美しい紙箱装飾「カルトナージュ作品展」
(ふしぎな花俱樂部)

「おはなし会」

▽土曜日・午後2時～
2月5日 ゆりかご
12日 むしこまど
19日 むしこまど
26日 どんぐり会

「文学講座」

▽2月19日(土)午前10時～
▽内容「草庵文学を読んでみよう」
▽講師 村山洋子さん

新着図書紹介

その他の新着情報はホームページをご覧ください。

♣一般図書



ちようどいい孤独

鎌田實／著

普段は誰かとつながってしながら、「ちようどいい孤独」を楽しみませんか？ 人生の満足度を上げる鎌田流「個立有縁」の在り方を紹介



暮らしを育てる台所

扶桑社出版

台所は知恵と工夫を凝らして、使いやすく、清潔に。日々の気持ちに優しく寄り添い、暮らしを育てる15人の台所のストーリーをつづる

♥児童図書



うちゅうずし

鈴木のりたけ／作・絵

貼って剥がせるシール絵本。物語を楽しみながらオリジナルのずしが作れるよ。宇宙一を決めるずし大会に向けて、新しいずしを考えてみよう



ほねほねザウルス

ぐるーぶ・アンモナイト／作・絵

冒険が大好きなほねほねザウルスのベビー、トップス、ゴンちゃん。宇宙に浮かぶ「メテオランド」へ行くと、巨大な怪物・竜王が待ち構えていて……

○農地を取得したら届け出が必要な場合があります

農地を相続などで取得した場合は、農業委員会への届け出が必要です。

●届け出が必要な人

- ▽農地法の許可を必要とせず、農地の権利を取得した人
- ▽遺産分割、包括遺贈、特定遺贈を含む相続を受けた人
- ▽時効取得した人

▽法人の合併、分割

●**届け出の期間** 権利を取得した日から10カ月以内

※権利取得の効力を発生させるには所定の登記手続きが別に必要になります。

【問い合わせ】

農業委員会

☎0893(44)2113

○確定申告は正しく、お早めに――

●確定申告期間

- ▽所得税・復興特別所得税
2月16日(水)～3月15日(火)
- ▽消費税・地方消費税(個人事業者)
3月31日(木)
- ▽贈与税 3月15日(火)
- 納付期限** 各税の申告期間の最終日まで

《申告会場のご案内》

- 場所** 大洲税務署
 - 日時** 2月16日(水)～3月15日(火)の平日。受付時間は午前8時30分～午後4時
- ※相談開始は9時からで、整理券の配布状況により午後4時前でも受け付けを終了する場合があります。

《入場整理券で感染症対策》

申告会場の混雑を緩和するため、整理券を発行します。当日に申告会場で配布しますが、LINEの国税庁公式アカウントなら、事前に整理券を取得できます。配布状況により後日の来場をお願いする場合があります。

《スマホで申告できます》

来場が不要なので、ぜひご利用ください。



▲申告書の作成はこちらから

【問い合わせ】

大洲税務署

☎0893(24)3115

○私たちの町の相談パートナー

新しい人権擁護委員さんを紹介します

人権擁護委員は人権擁護委員法に基づき委嘱された私たちの町の相談パートナーです。法務大臣から4年1月1日付けで、新しく大程幸子^{ゆきこ}さんⅡ程内Ⅱが委嘱されました。

相談は無料で、その内容や秘密は固く守られます。暮らしの中での悩みや心配ごとなどある

人は、安心してご相談ください。



人権擁護委員の
大程幸子さん

【問い合わせ】

住民課 人権対策係

☎0893(44)6152

○新型コロナウイルス関連情報の確認と オミクロン株に対する最大限の警戒のお願い

《開催状況の確認》

「内子町人権・同和教育研究大会」など、新型コロナウイルス感染症の感染拡大のために開催が中止になった催しについては、内子町ホームページでお知らせしています。『広報うちこ』に掲載している行事も今後の状況で延期や中止になる場合がありますので、ご確認ください。

《不織布マスクの着用徹底》

1月27日現在、愛媛県では「オミクロン株感染拡大 特別警戒期間」となっていますが、いまだ新規感染者数は高い水準を維持しています。住民の皆さんには引き続き、手洗い・消毒などの基本的な感染症対策の継続をお願いするとともに、「不織布マスク」の正しい着用の徹底をお願いします。

【問い合わせ】

新型コロナウイルス感染症対策室

☎0893(57)6370

森林経営管理制度の意向調査を始めます

2月から寺村・立石地区の一部をモデル地区として、所有している山林の管理に関する意向調査を行います。

この調査は、私たちの生活と密接にかかわる森林を適切に経営・管理するため、町の「森林管理制度」を円滑に進めるために行うものです。同制度は「10年間程度整備されておらず、森林経営計画もない民有の人工林」について、町が仲介

し森林所有者と林業経営者をつなぐものです。

今後は順次、町内の各地域で意向調査をする予定です。郵送で意向調査票が届きましたらご回答いただきますよう、皆さんのご協力をお願いします。

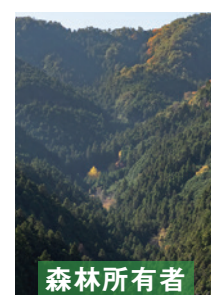
【問い合わせ】

農林振興課 林業振興係(内子分庁内)

☎0893(44)2123

森林経営管理制度の概要

※これまでの森林管理の方法に加え、下図のように町が仲介する方法が増えます。



意向を確認



経営管理を委託



経営管理を再委託



経営管理を委託



林業経営者が管理

内子町が管理

65歳になったら必要な手続き

国民年金などについて、65歳になったら次のような手続きが必要となります。あなたに該当するものをご確認ください。

《老齢基礎年金を請求する人》

老齢基礎年金は、10年以上の受給資格期間があれば65歳から受給できます。受け取る権利を得ても、受給が自動的に始まるわけではありません。忘れずに年金の請求手続きをしましょう。

《特別支給の老齢厚生年金を受給している人》

60歳代前半から特別支給の老齢厚生年金を受けていた人が65歳になったときは、新たに老齢基礎年金と老齢厚生年金を受けることになります。この場合は「年金請求書(国民年金・厚生年金保険老齢給付)」の提出が必要です。

《障害基礎年金を受給している人》

障害基礎年金を受けている人が65歳になり、老齢厚生年金を受けられるようになった場合、

両方の年金を受けることができるので、年金の請求手続きをしてください。

公的年金は原則、いずれか1つの年金を選択しますが、65歳以後は特例的に2つの年金を受けるなど、年金の組み合わせを選択できる場合があります。詳しくは年金事務所へお問い合わせください。

《66歳以降に年金を受け取りたい人》

老齢年金は受給を66歳以降に繰り下げることができます。請求する時点に応じて年金額が増額され、その増額率は生涯変わりません。繰り下げ受給を希望する場合は65歳で請求せず、希望する受給率の年齢になってから請求しましょう。

【問い合わせ】

○松山西年金事務所

☎089(925)5105

○住民課 国民年金係

☎0893(44)6152

コラム*ねんきん瓦版

監査委員による監査・検査について

10月20～25日に実施した財務監査の結果についてお知らせします。詳しくは内子町のホームページで見られます。

【問い合わせ】 監査委員事務局 ☎0893(44)2115



赤穂英一 代表監査委員
森永和夫 監査委員

令和3年度財務監査意見

3年度前期(4～9月)の一般会計・特別会計および公営企業会計の財務監査は、内子町監査基準に基づき、各課から提出された調書などを中心に、関係職員からも聴取し、抽出により実施した。

その結果、各会計の各種事業は全体的には問題なく進捗しており、執行内容も適正に処理されていると認めた。ただし、先の例月現金出納検査等で指摘した事務処理不適切事案については、厳正な調査の結果、関係職員が懲戒処分(停職2カ月)に処せられた。再発防止策を徹底されたい。

財務監査の主な意見は、次のとおり。

【委託料および工事請負費】 競争性・透明性・経済性を踏まえた競争入札や比較見積もりに基づき、適正な予算執行が行われていた。引き続き、随意契約の明確な理由付記などを徹底されたい。変更契約は事前に目視でき予測できるもの、関連する設備の経過年数の確認、施設利用者のニーズ確認など、十分な準備調査を行い、当初設計に盛り込むなど、適正な執行に努められたい。

【施設・設備の管理】 「内子町地域防災計画」を基本に各種マニュアルを作成し、緊急時に的確な対応ができる体制となっている。引き続き、必要な耐震診断や措置、利用が低調なものの課題の解

決に向けた努力、身体障がい者・高齢者・児童への配慮、新型コロナウイルス感染症対策などに努められたい。

【情報化・ICT化】 情報管理の徹底、セキュリティの確保に厳格に取り組み、自主監査や点検が形骸化しないよう対応されたい。疑似的メール送信による体験型訓練は工夫されており評価できる。低調なマイナンバーカード交付率の向上策に一層取り組まれたい。

【補助および交付金の支出】 実態や活動実績を的確に反映して見直しに取り組んでおり評価できる。新型コロナウイルス感染症の影響で中止の行事も多く、年度末清算も考慮されたい。

【基金】 いずれも法令・条例に基づき適正に管理されていた。ここ2年間は、新型コロナウイルス感染症対策として、国から補助があり、基金の増減は比較的少ない状況にある。引き続き、それぞれの基金の設定目的に則して、適正な管理・運用に努められたい。

後期(10～3月)においても引き続き、新型コロナウイルス感染症対策に的確な対応を行うとともに、内子町の良さと個性が生かされた内子町形成のため、一層努められたい。

め、私たちが先頭に立ち、全職員一丸となって、再発防止と綱紀粛正を徹底するとともに、襟を正して職務に精励することで、町民の皆様の信頼回復に全力で取り組んでまいります。

内子町長 小野植正久
内子町教育委員会教育長 山岡 晋

事務処理不適切事案のお詫びと再発防止について

内子町教育委員会での町内施設へのエアコン設置に関し、手続きを経ることなく事業を実施し、上司などに対しては複数回の虚偽報告を行うなど、町政に対する皆様の信頼を著しく失墜させる事務処理不適切事案が発生いたしましたこと、心より深くお詫び申し上げます。このことを厳粛に受け止

無料でPCR検査が受けられます

新型コロナウイルスへの感染不安を抱える無症状の町民を対象に、無料のPCR検査を行いますので、ぜひご利用ください。

●実施日時 毎週月・木曜日の午前11時30分～午後12時30分

※感染状況により変更はありますが、2月末までの予定。

●場所 五十崎自治センター

●対象者 感染が心配な人

※症状がある場合は医療機関に

ご相談ください

●検査人数 1日25人程度

●利用方法 検査実施事業者の湊町衛生検査センターに電話で予約してください。

☎090(3167)7663

※本人確認のため運転免許などの身分証明書を持参ください。

【問い合わせ】

新型コロナウイルス感染症対策室

☎0893(57)6370

働く保護者の子育てを手助け「放課後児童クラブ」の利用者募集

《内子放課後児童クラブ》

●対象 内子小の1～3年生

●定員 30人程度

《五十崎放課後児童クラブ》

●対象 五十崎・天神小の1～3年生

●定員 30人程度

《共通事項》

●利用条件 昼間、仕事などで保護者がいない家庭の児童

※就労証明書などが必要です。

●利用期間 4月1日～5年3月31日(日曜日・祝日・盆休み・

年末年始は除く)

●時間

▽平日 放課後～午後5時30分

▽その他の利用可能日 午前8時30分～午後5時30分

※午前8時からの利用と午後6時までの延長が可能

●利用料 月額：1人5000円(8月のみ1万円)

●申込期限 2月22日(火)

【申込・問い合わせ】

○内子児童館

☎0893(44)3101

○五十崎児童館

☎0893(44)2001

人権コラム*幸せへの道

全国水平社創立100年を迎えて

差別の解消を目指す「全国水平社」の創立大会は大正11年(1922年)3月3日、京都で開催されました。当時は、明治時代に差別的な身分制度はなくなったものの、社会に深く根付いた差別意識は払拭されていないままでした。創立は具体的な対策を講じない政策に対抗し、差別と貧困からの解放を実現することが目的でした。

当時の民衆は差別することを当たり前と考える人ばかりではありませんでした。たとえ差別を強制されようとも、人が人として尊厳をもって生きることに誇りを見出していたからです。それは武士が支配していた江戸時代が終焉を迎え、徐々に大衆が力を持ち民主主義を求めて立ち上がった大正時代に移り変わったことから分かります。多くの人が人として誇りを持って生きる大切さに気付いていたのです。

大正時代には、農民や女性や労働者が自らの

権利獲得を目指して立ち上がっています。今でこそ、憲法にうたわれる基本的人権は当たり前のように思われていますが、これは多くの先人があらゆる差別と闘い、勝ち取ってきたものです。それを受け継ぐ私たちは、権利を守り、もしも奪われたときには取り戻さねばなりません。そのためには「差別とは何か」「権利とは何か」と、常に自分自身に問い、学習を続けることが必要です。

3月3日には全国水平社創立から100年を迎えます。この節目に自分自身の権利が保障されているかどうか、人の権利を侵していないかどうか、振り返ってみてはいかががでしょうか。

【問い合わせ】

内子町教育委員会 自治・学習課 生涯学習係(内子分庁内)

☎0893(44)2114

特別養護老人ホーム

みどり苑 職員募集

▶期日 3月19日(土) 午前9時30分～

▶会場 みどり苑



募集要項

●職種、採用人数など

職種	採用人数	応募資格
正職員	看護職員	1人
会計年度任用職員	介護職員	若干名
	介護支援専門員	1人

《正職員》

●一次試験 教養試験、作文

※合格者に二次試験の内容などを通知します。

●採用時期 5月1日～

●基本給与 准看護師16万5,900円以上、看護師19万2,200円以上

《会計年度任用職員》

●試験内容 面接

●採用時期 4月1日～

※給与などの詳細は、みどり苑のホームページでご確認ください。

☎ <https://userweb.u-broad.jp/ozukita-midori/>

《共通事項》

●申込期限 3月11日(金)

●応募方法 次の①～③の書類を提出してください。①採用試験申込書(みどり苑の事務所またはホームページから入手できます)／②履歴書(市販)／③資格証明書の写し

●勤務条件 各種保険あり。土・日・祝日、年末年始の勤務あり

【提出先・問い合わせ】

〒791-3331 内子町立山4740番地1

特別養護老人ホーム みどり苑

☎ 0893(45)0141

催し

持続可能な地域を目指す
観光シンポジウムを開催



町並みの観月会

内子町の観光を未来につないでいくため、持続可能な地域と観光を模索するシンポジウムを開催します。

●日時 3月17日(木)

午後6時30分～

●場所 五十崎自治センター

●内容

▽基調講演 地域観光研究所

代表 坂元英俊さん

▽パネルディスカッション(石

畳・御祓・小田深山地区の取

り組み発表ほか)

※新型コロナウイルス感染状況

によっては、オンラインでの

配信を行う予定です。

【申込・問い合わせ】

町並・地域振興課 グリーン

ツーリズム係(内子分庁内)

☎ 0893(44)2118

うちこ福祉館の行事案内

《健康講座①》

●日時 2月22日(火)

午前9時30分～

●内容 体をあつためる料理／

講話「免疫力アップのお話」

《健康講座②》

●日時 3月1日(火)

午前9時30分～

●内容 先取り花見弁当／講話

「健康ウォーキング」

※屋外でウォーキングをします。

《健康講座①②共通》

●定員 15人

●参加費 300円

●持参物 マスク、エプロン、頭巾

《わいわい喫茶》

●日時 3月7日(月)

午後1時～4時30分

●参加費 無料

【申込・問い合わせ】

うちこ福祉館

☎ 0893(44)3410

きずな博公式SNS
キャンペーン実施中

「えひめ南予きずな博」の公式ツイッターやインスタグラムをフォローすると、毎月5人に

南予の特産品(3000円相当)が当たるキャンペーンを実施しています。詳しくはホームページをご覧ください。

●応募期間 7月31日まで

☎ <https://kizunahaku.com/event/2021/11/406/>



▶キャンペーンのチラシ

【問い合わせ】

えひめ南予きずな博実行委員会

☎ 0895(28)6146

お知らせ

虐待を見つけたら
すぐに相談窓口へ

児童や障がい者、高齢者に対する虐待は、ささいなことが積み重なって問題が深刻になる場合があります。虐待を早期に発見するためには、地域の皆さんのご協力が必要です。次のような場合は、虐待の可能性がある

ので、相談窓口へご連絡ください。連絡者の情報は固く守られます。

《虐待の兆候》

▽子どもの泣き声や大人の怒鳴り声が聞こえる

▽体にあざや傷がある

▽暴言を吐かれている

▽ひげや髪が伸びるなど不衛生な姿で介護を放棄されている

【相談窓口・問い合わせ】

○児童の相談

こども支援課 児童福祉係

☎ 0893(23)9255

○障がい者・高齢者の相談

地域包括支援センター

☎ 0893(44)6154

中小企業の退職金
国の制度でサポート

「中小企業退職金共済制度」は、中小企業の事業主が従業員の退職金を計画的に準備できる国の制度です。掛金は、一部を国が助成します。全額非課税で手数料も掛かりません。詳しくはお問い合わせください。

【申込・問い合わせ】

(独)勤労者退職金共済機構中小企業退職金共済事業本部

☎ 03(6907)1234

1月22日、南予で震度4！
地震への備えを確認しよう

いつ強い地震が発生しても身を守るができるよう、次のことを確認しておきましょう。

・最低3日分の食料、非常持ち出し品の準備をする。

・家具などは倒れないように固定する。

・普段通る道に危険な場所がないか確認する。

・地震が発生した場合の連絡手段を家族で話し合う。

【問い合わせ】

内子消防署

☎ 0893(43)0119

相続の疑問や悩み
司法書士が無料で回答

2月を「相続登記はお済みですか月間」と定め、相続登記や遺言など相続に関する相談に、各司法書士事務所の司法書士が無料で応えています。詳しくはお問い合わせください。

●無料相談受付期間

2月28日(月)まで

【問い合わせ】

愛媛県司法書士会

☎ 089(941)8065

赤い羽根共同募金のお礼

3年10月1日から行ってきた赤い羽根共同募金運動は、コロナ禍で大変な時期にもかかわらず、企業や自治会、商店主や学校関係者などの皆さんの温かいご協力で、目標額の500万円を超える寄付が集まりました。ありがとうございました。

募金は全額、愛媛県共同募金会に送金し、愛媛県内の児童福祉施設や市町社会福祉協議会などに配分されます。内子町社会福祉協議会にも一部配分され、自治会配分金事業や社会福祉事業に活用する予定です。

■赤い羽根共同募金運動実績

項目	金額(円)	協力団体など
戸別募金	3,020,160	41 自治会
街頭募金	12,713	ボーイスカウト内子支部
法人募金	1,546,000	7 地区社協分会
学校募金	53,415	生徒、児童、園児
職域募金	480,000	町職員、教職員、民生児童委員、社協職員他
その他	65,976	ガチャポン募金、バッジ募金他
合計	5,178,264	

令和3年度ふれあい・いきいきサロン

情報交換会を開催しました

内子町内に40カ所あるサロン代表者などが集まる「ふれあい・いきいきサロン情報交換会」を11月11日、共生館で開きました。

レクリエーション道具を体験しながら使い方を学んだほか、活動事例の報告をしました。コロナ禍の活動は、密を避けたミニサロンや、安否を確認し合う訪問活動などを行っているそうです。参加者からは「コロナ禍だから近所付き合いの大切さ、ありがたさに気付いた。今後も地域の仲間同士、絆を深めていきたい」との意見が出ました。

内子町社会福祉協議会では、サロン活動を推進しています。パラリンピックで知名度が高まったボッチャなどのレクリエーション道具の貸し出しもありますので、気軽にお問合せください。



参加者が人気競技の「ボッチャ」を体験

自分も楽しみながら地域の役に立ちたい

ボランティア活動しませんか

《ボランティア活動の紹介》

内子高等学校の教師3人が保育園やサロンの活動にボランティアで参加しました。12月23日には、内子保育園で紙芝居や楽器の演奏などをして、子どもたちを楽しませてくれました。

《12の登録ボランティア団体》

当社協では、12の登録ボランティア団体の支援をしています。清掃活動や読み聞かせ活動、趣味や特技を生かした活動など、自分も楽しみながら地域に笑顔を広げている団体がたくさんあります。

《ボランティア活動をしたい人へ》

登録ボランティア団体の紹介や、個人で活動したい人の斡旋もします。ボランティア活動に興味がある人は気軽に当社協にご連絡ください。



水道ホースで作ったラッパ演奏に園児もびっくり

お知らせ

天気が気になるときは
松山地方気象台へ

松山地方気象台では「天気に関する問い合わせ」を受け付けています。自動音声による気象情報と併せてご利用ください。
《天気に関する問い合わせ》

●対応時間 平日の午前8時30分～午後5時15分

☎089(941)0012

《自動音声案内》

▽気象情報

☎089(947)8249

▽天気予報サービス

☎177

《問い合わせ》

松山地方気象台

☎089(941)6293

多様な性のことは
LGBT相談窓口へ

愛媛県では性的マイノリティの人や、周囲の人などが無料で相談できる窓口を開設しています。電話のほか、面接での相談ができます。詳しくはホームページをご覧ください。

《電話相談》

●日時 毎月第2月曜、第4日曜、午後6時～9時30分

《面接相談》

●日時 2月8日(火) 午後6時～8時

☎https://www.pref.ehime.jp/h1590/h1590.html

《問い合わせ》

愛媛県 人権対策課
☎089(912)2455

不眠や心の不調の悩み
相談してみませんか

臨床心理士などが無料で相談に応じる「こころの健康相談日」を実施します。秘密は厳守しますので、一人で悩まずお気軽にご相談ください。

《五十崎保健センター》

●日時 3月3日(木) 午前9時～正午、午後1～4時

●相談担当 幸田裕司さん(心理療法師)

《小田保健センター》

●日時 3月7日(月) 午前9時～正午

●相談担当 松田有紀さん(臨床心理士)

《各日共通事項》

●対象 本人または家族の人

※相談日前日までに申し込みてください。

※保健センターでは随時、心の相談を受け付けています。

《申込・問い合わせ》

内子町保健センター

☎0893(44)6155

ポリテクセンター愛媛
4月期生を募集します

再就職を希望する人が、新たな技術などを身に付けられる職業訓練を実施しています。

●対象 ハローワークの受講指示・推薦を受けられる人

●募集科 機械CAD/NC、溶接ものづくり、電気設備技術、住宅・福祉リフォーム

●期間 4月5日から6カ月間

●受講料 無料

●募集期限 2月24日(木)

《問い合わせ》

ポリテクセンター愛媛

☎089(972)0329

4月から成年年齢が18歳

消費者トラブルに注意を

4月1日からの法改正により、成年年齢が18歳に引き下げられます。自分自身の責任で契約が

できるようになるため、消費者トラブルに巻き込まれないよう、次のことに注意しましょう。

- ・うまい話に飛びつかない
- ・ネットの情報に流されない
- ・契約をせかされても、その場で判断しない
- ・借金してまで契約しない

※困ったことやトラブルが生じた場合は、一人で悩まずご相談ください。

《問い合わせ》

内子町消費生活相談窓口

☎0893(44)5026

自宅で学べる正規の大学
放送大学4月入学生募集

放送大学では心理学・福祉・経済・歴史・文学・情報など、約300の授業科目があり、1科目から学ぶことができます。学位取得はもちろん、キャリアアップや自己実現など、あなたの学ぶ意欲を放送大学で満たしませんか。

●出願期間 3月15日まで

※資料を送付しますので、気軽にお問い合わせください。

《資料請求・問い合わせ》

放送大学愛媛学習センター

☎089(923)8544

健康づくりに役立つ栄養成分表示を活用しよう

●栄養成分表示を知っていますか

加工食品にはエネルギーやたんぱく質、脂質、炭水化物、食塩相当量の栄養成分の含有量を表示することが義務付けられています。この5つは生命の維持に不可欠な栄養成分ですが、生活習慣病とも深く関わっています。

《栄養成分表示の例》

栄養成分表示：1食(○g)当たり	
エネルギー	○○ kcal
たんぱく質	○○ g
脂 質	○○ g
炭 水 化 物	○○ g
食塩相当量	○○ g

商品によって表示
単位が違うので、
よく確認を！

●栄養成分表示を活用してみよう

栄養成分表示を見ると、エネルギーや栄養素をどのくらい摂取できるかが分かり、摂取不足や摂りすぎを防ぐことができます。表示されている栄養成分の特徴を知って、健康の維持や増進に役立てましょう。

▷エネルギー

エネルギーの摂取量と消費量のバランスによって体重が変化します。バランスが取れているかは、体格指数（BMI）で判定できます。BMIが目標数値に当てはまらない人は、エネルギーの摂取量を調整してみてください。生活習慣病の予防のために肥満を解消したり、高齢期のフレイル予防

のために低栄養にならないようにしたりして、適正な体重を維持しましょう。

《体格指数（BMI）》

※BMI＝体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)

年齢	目標数値
18～49歳	18.5～24.9
50～64歳	20.0～24.9
65～74歳	21.5～24.9
75歳以上	21.5～24.9

▷たんぱく質、脂質、炭水化物

生活習慣病の予防には、エネルギー源となる質の良いたんぱく質をしっかりと取って、脂質は控えめに、炭水化物は取り過ぎないようにすることが大切です。炭水化物の一部である食物繊維の1日の目標摂取量は男性21g以上、女性18g以上とされています。しかし4～5gほど不足している人が多いため、野菜や果物など食物繊維の多い食品を取るよう心掛けましょう。食物繊維の含有量を表示している加工食品も増えています。

▷食塩相当量

食塩摂取量の1日の目標量は、男性7.5g未満、女性6.5g未満とされています。日本人は塩分を取り過ぎている人が多いため、普段からよく食べる食品や調味料に含まれている食塩量を知り、選び方や食べ方などを工夫して、おいしく減塩しましょう。

3月の相談日・救急当番医

●年金1日相談

日時：10(木)・24(木)の午前10時～午後3時30分
場所：内子自治センター ※相談は予約制です。
予約・問い合わせ：松山西年金事務所
☎089(925)5110

●行政相談

日時：8(火)の午前9時30分～正午
場所：町民会館／内子分庁／小田自治センター
問い合わせ：総務課 ☎0893(44)6150

●心配ごと相談

日時：15(火)の午前9時30分～正午
場所：内子分庁
※心配ごと相談は予約制です。前日までに電話でお申し込みください。
問い合わせ：内子町社会福祉協議会 ☎0893(44)3820

●人権相談

日時：8(火)の午前9時30分～正午
場所：内子自治センター
問い合わせ：住民課 ☎0893(44)6152

●小児在宅当番医

日	医院名	電話番号
6(日)	おおくぼこどもクリニック(大洲市)	0893(57)9366
13(日)	八幡浜一次救急休日・夜間診療所	0894(24)1199
20(日)	おおむら小児科(内子町)	0893(44)7117
21(月)	守口小児科(八幡浜市)	0894(24)7770
27(日)	大洲ななほクリニック	0893(25)7710

※けがなどの外科治療は、救急病院をご利用ください。

●大洲喜多休日夜間急患センター ☎0893(23)1156

診療科目	診療時間
内科	○昼間：午前9時～午後6時(日曜・祝日) ○夜間：午後7時～10時(平日、土・日曜日)

※当センターの診療は応急措置のみです。休日や夜間に急に具合が悪くなった、中学生以上の人が受診できます。

●救急病院

曜日	病院名	電話番号
月・火	市立大洲病院	0893(24)2151
水	日中：加戸病院	0893(44)5500
	夜間：喜多医師会病院	0893(25)0535
木	日中：大洲記念病院	0893(25)2022
	夜間：市立八幡浜総合病院	0894(22)3211
金・土	大洲中央病院	0893(24)4551
日	日中：大洲中央病院	0893(24)4551
	夜間：市立八幡浜総合病院	0894(22)3211

3月の健康カレンダー

●母子保健

乳児健診

日	受付時間	場所	対象
8(火)	午後1時～1時15分	内子保健センター	令和3年6月・7月生まれ

2歳Comeかむ教室（むし歯予防教室）

日	受付時間	場所	対象
17(木)	午前9時～10時	内子保健センター	令和元年12月、2年1月生まれ

育児相談

日	受付時間	場所	対象
3(木)	午前9時30分～10時30分	小田保健センター	乳幼児
4(金)	午前9時30分～11時	五十崎保健センター	
10(木)		内子保健センター	

【問い合わせ】

内子町保健センター
☎0893(44)6155

住人十色

第
148
回



◎早朝からウォーキングを楽しむ皆さん。期間中は1人平均で2万7,000歩も歩いていました。
左から高田武志さん、宇都宮啓之さん、稲井強さん、大森亮太郎さん、山口佳一さん

釣り仲間でウォーキング大会に挑戦 一步一步を積み重ねて日本一の頂へ——

内子釣り定例会ウォーキング部の皆さん

昨年11月1～30日の期間で行われた「第1回明治安田生命ウォーキングキャンペーン」に参加した、内子釣り定例会ウォーキング部が、全国5504チームの頂点に立つ快挙を達成しました。

ダイエツトのため、9月頃からメンバーと歩き始めたという山口佳一さんは「キャンペーンに参加してみたら、数日で自分たちのチーム名が上位に挙がった。うれしくて、絶対に優勝しよう」と決意します。毎日40キロくらい歩き、睡眠時間が3時間という日もあったそうです。「チームの平均歩数を競うので、一人だけ頑張っても駄目。日ごとにチームワークが高まるのが面白かった。SNSを見て応援してくれる人や、『自分も歩き始めた』と声を掛けてくれる人がいたのも励みになった」とつくり。高田武志さんは「コロナ禍で気持ちが沈んでいたけれど、自分たちなりの楽しみ方になった」と振り返ります。週に1回は神南山に登り、日の出や雲海などの絶景を眺めることもできました。1カ月で積み上げた平均歩数の合計は81万1485歩。山口さんも17キロのダイエツトに成功しました。

最後に今後の目標を尋ねると「大物を釣り上げること」と口をそろえた皆さん。鍛えた足腰で趣味の釣りも楽しめます。

編集 幸記

▽山口さんのSNSに刺激を受け、ウォーキングを始めた一人です。ただし私の場合は2～3歩くらいだけで、ビールとつまみがおいしくなり、食べる量と体重は増加。寒いからと歩くのはやめ、悪い習慣だけ継続中……。猛省します(裕)

▽新成人の皆さんの姿、めちやくちゃかわいかったです。カメラを向けたら飛びつきの笑顔を見せてくれて、抱負や夢を語ってくれたので、たくさんエネルギーをもらいました。あゝ私も20歳のころに戻りたい……(沖)

町内無線放送が聞き取れなかった場合はお電話ください。

通話料無料の
フリーダイヤル
☎0120(44)2130

